

拠出金名： 文化遺産保存日本信託基金

国際機関名	国際連合教育科学文化機関 (略称) ユネスコ(UNESCO)					
種 別	国連本体		○国連専門機関		その他国際機関	
所轄官庁担当局課名	外務省広報文化交流部国際文化協力室					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成15年度	244,000	2,000		1\$ = 122 円	(2003年) 100	100
平成14年度	280,600	2,300		1\$ = 122 円	(2002年) 100	100
平成13年度	247,705	2,315		1\$ = 107 円	(2001年) 100	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2003年のもの	
1位	日本		100			
2位						
3位						
4位						
5位						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>教育、科学、文化、コミュニケーション・情報を通じて諸国民の間の協力を促進し、国際社会の平和と安全に貢献するユネスコの役割の重要性を高く評価。我が国の民間ユネスコ活動が世界の民間ユネスコ活動の推進力となるなど国民に親しみのある国際機関であることもあり、政府としてもユネスコの諸事業に積極的に参加・協力している。我が国は1952年以降ユネスコ執行委員会のメンバー国としての地位を確保しており、ユネスコ政策にわが国の意見を反映させるよう努めている。本信託基金については、アンコール遺跡やバーミヤン遺跡の保存・修復を始め各事業において我が国の技術や経験を生かした支援の実施に努めており、国際社会からも高く評価されている。</p>						
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p> <p>松浦事務局長は就任以降、ア)プログラムの精選化、イ)人事・機構等事務局運営の合理化、ウ)分権化の3分野からユネスコ改革に取り組み、我が国もこの改革努力を支援してきた。これらの改革は既に成果をあげてきており、ユネスコを脱退した米国も松浦事務局長による改革を高く評価し、その結果2003年10月にユネスコに復帰を果たした。</p>						
邦人職員数 うち幹部(D1) 以上	59人(注2) うち 4人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率			885人(注2) 6.7%	
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
事務局長(DG)		松浦晃一郎		外務省		
事務局長補(文化担当)官房付		梁 敏子		国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)		
教育局中等職業教育部長(D1)		岩本 涉		文部科学省		
北京事務所長(D1)		青島泰之		日本鋼管		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
ユネスコの採用ミッション派遣のフォローアップをはじめ機会を捉え更なる邦人職員採用に努める予定。						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2001年～2003年)。

(注2) アソシエイトエキスパート含む。

(参考) この国際機関にはこの他に文部科学省から拠出あり。